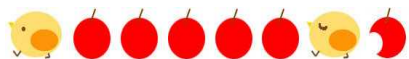


ほっかり いっぱい みさきっ子



御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和元年度 9月号

2学期がスタートし、教室や廊下に子どもたちの夏休みの作品が並んでいます。

いつ、どのように作ったのかな、どんな苦労があったのかな・・・、一つ一つの作品に子どもたちの夏の物語があるように思います。

同じ物は二つと無い、自分だけの作品、それが尊いことだと思っています。



夏休みの作品 3年 植田琉巳
「ネプチューンオオカブト」

「ほっかりの木」



今年度も「ほっかりの木」に取り組んでいます。御小の子どもたちの1学期の「ほっかりパワー」を紹介します。

あじみりのさんは字がうまいよ。わたしもまねしたいよ。

1年 植田りお

まなさんは、わたしがこまった時、すぐに話しかけてくれます。そんなまなさんにほっかりしました。

2年 澤入ゆのん

私がほっかりパワーをいちばんもらったのは、あいさつ係のこはるさんです。こはるさんは、毎日大きな声であいさつをしています。こはるさんのあいさつで、私も大きな声で言えるようになりました。

3年 鈴木りの

ぼくが見つけたベストほっかりは、5年生の授業を見てからのクラスの様子です。発表する人や聞く態度など、成長したと思います。発表が苦手だった人もがんばっています。ぼくも苦手なことに挑戦したいです。

4年 下村ゆうき

ぼくがほっかりした人は、6年のみわ子さんです。掃除の時、1年生といっしょに机を運ぶのを見て、6年生らしいなと思いました。ぼくも来年6年生です。来年のほっかりパワーにつなげたいです。

5年 松林ゆうひ

ぼくがほっかりした人は、南倉いつきさんです。運動会やその練習の時、いつでもいつきさんは本気でした。そんないつきさんのほっかりパワーを自分のほっかりパワーにかえたいです。

6年 松尾やまと

御小の「ほっかり」は人の心を動かす力があります。それを「ほっかりパワー」と呼びます。他の人の「ほっかりパワー」を「自分のほっかりパワー」にかえて、もっともっと「ほっかり いっぱい みさきっ子」になります。

「ほっかりの木」も、葉っぱから花へ、そして実になって、「ほっかりいっぱい」の木に成長していきます。

(文責 校長：植田)